**令和８年度　第２学年　社会科（評価規準）**

| 章・単元 | 学習活動 | 学習活動における評価規準 | | | 評価資料 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | |
| ＜地理＞　１章<br>身近な地域の調査 | ・身近な地域調査<br>・地形図の使い方 | 身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題に関する地図やグラフ、表、地形図を読み取り、身近な地域の調査について、地域的特色や地域の課題とともに、身近な地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法を理解している。 | 身近な地域の地域的特色から課題を見いだし、身近な地域の調査を行う際の視点や方法を基に多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を地理的なまとめ方や発表の方法により適切に表現している。 | 身近な地域の調査とその地域的特色や地域の課題に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、捉えようとしている。 | 授業の取組・提出物<br>小テスト・定期考査 |
| ＜地理＞　２章<br>日本の地域的特色 | ・日本の地形と気候区分<br>・日本の自然災害と防災<br>・日本の産業 | 自然環境や人口、資源、エネルギー、産業、交通、通信の視点から、日本と世界の地域的特色を比較し、さまざまな資料を適切に選択して読み取り、理解している。 | 日本の地域的な特色を世界の地域と比較し、日本の自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通などが、どのように変化し、どのような課題を抱えているのかを多面的・多角的に考察し、表現している。 | 自然災害への対応や人口減少に伴う少子高齢化など、身近な地域や日常生活との関わりに着目して、日本の地域的な課題について主体的に追究しようとしている。 | 授業の取組・提出物<br>小テスト・定期考査 |
| ＜地理＞　３章<br>日本の諸地域 | ・九州地方　・中国・四国地方<br>・近畿地方　・中部地方<br>・関東地方　・東北地方<br>・北海道地方 | 日本の諸地域に関する資料を適切に読み取り、地形や自然環境、人口、産業、他地域との結びつき、諸地域特有の課題を理解し、さまざまな情報を調べていく過程で適切にまとめることができている。 | 日本の諸地域の地域的特色を、多面的・多角的に考察し、地理的な視点から諸地域の問題を解決していくその過程や結果で適切に表現することができる。 | 日本の諸地域の地域的特色に対する関心を持ち、それを意欲的に追求し、捉えようとする。 | 授業の取組・提出物<br>小テスト・定期考査 |
| 〈歴史〉４章<br>近世の日本 | ・中世からの脱却<br>・兵農分離と朝鮮侵略<br>・桃山文化<br>・江戸幕府の成立と鎖国<br>・産業の発達と幕府政治の動き | ヨーロッパ人来航のその背景とその影響などを基に諸資料から歴史に関するさまざまな情報について調べてまとめる過程で、天下統一や幕藩体制の確立から鎖国など、日本社会に及ぼした影響を理解している。 | 交易の広がりとその影響に着目して、事象を相互に関連づけるなどして、豊かな交易が行われていたアジアにヨーロッパが進出する中で、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、日本の政治や文化に与えた影響などを多面的・多角的に考察し、表現している。 | 世界の動きと関連付けながら、中世から近世への過渡期にある日本について、よりよい社会を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 | 授業の取組・提出物<br>小テスト・定期考査 |
| ＜歴史＞　５章<br>開国と近代日本の歩み | ・欧米の進出と日本の開国<br>・明治維新<br>・日清・日露戦争と近代産業 | 欧米諸国における産業革命や市民革命、アジアの動向に着目し、日本の富国強兵や殖産興業、文明開化などの近代化までの流れを、写真や図、グラフ、表などから適切に読み取り、理解している。 | 近代の歴史的事象から課題を見いだし、近代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を基に適切に表現している。 | 欧米諸国のアジア進出が日本の開国をもたらしたことや開国の影響と江戸幕府の滅亡について、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。 | 授業の取組・提出物<br>小テスト・定期考査 |